

「黒耀石文化研究」創刊にあたって

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学人文科学研究所 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小林, 三郎 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/18531

「黒耀石文化研究」創刊にあたって

黒耀石からみた人類史の復原を目標にかがげた文部科学省学術フロンティア推進事業「石器時代における黒耀石採掘鉱山の研究」は、本学が10数年来調査・研究を進めております長野県長門町にある鷹山遺跡群の地に明治大学黒耀石研究センターを建設することから始まりました。

そして、この黒耀石研究センターを中心に同遺跡群の発掘調査を推進するとともに、広く共同研究者を募っての共同研究事業が2001年度から始まりました。まずは、明治大学黒耀石研究センター機関誌「黒耀石文化研究」創刊号の刊行にあたって、ご多忙にもかかわらず玉稿賜りました各執筆者の方々に厚くお礼申し上げます。

創刊号では、黒耀石に焦点をあてた文化財分析科学および考古学の現状と展望について、北海道、中部高地、九州それぞれの地域的な脈絡のなかで簡潔にまとめていただき特集としました。

黒耀石産地同定分析にかかわる問題提起、また各地域から寄せられた論考には、原産地と黒耀石をめぐる様々な歴史性が紹介されています。また、黒耀石研究と現在とのかかわりについては、鷹山遺跡群での保存・活用の取組みを紹介しました。

ところで、石器石材への関心は、考古学的方法と理論そして実践を考えるにあたって、今や非常に重要な要素となっています。このことは黒耀石だけではなく、石器文化研究全般に広く重なる地域や時代をこえた動向ではないかと思えます。

そうした意味からも、「黒耀石文化研究」誌上が分野の枠をこえた活発な議論の場となることを祈念いたします。

明治大学考古学研究室

小林 三郎